



平成24年7月15日



まつかわ百景 ⑬

「ダリア」

ダリアの出荷が盛んな季節を迎えた。諏訪形の宮澤実さんのハウスでは「ミツチャン」という品種のダリアが艶やかな色合いの花を咲かせていた。

2面	3面	4面	5面	6面	7面	8面
特集①	花という笑顔を東北へ	特集②防災学習への取り組み	みんなで仲良く	青年の家だより	スポーツ・情報	なかまたち・すぼっと
					こどもの詩・俳句・短歌	視点・声・ペンペン草

「今度は下伊那日赤に行つて欲しい」平成14年になつたころ、私は所属する信州大学の人事担当の先生から突然言われました。「はあ(下伊那日赤つて小児科1人だよな。え〜っ！)」正直困惑しました。それまで勤務した病院では小児科医が少なくとも2人おり、相談する医師がいましたが、1人では近くに相談する相手がいません。迷いましたが断れるはずがありませんでした。最初は不安を抱えながらの毎日でしたが、おそらく私の性に合っていたのでしよう、松川の皆さんの温かさや病院のスタッフに助けられながら働いているうちにだんだん楽しくなつてきました。

主張

日赤に戻ってきました

けたらと思つていました。小児科を選んだ理由の一つには、そういつたところでも困らない幅広い知識が身に付くのではないかと考えたことがあります。

平成17年に小児医療の集約化の流れに逆らえず、日赤を去ることになりましたが、今回飯田市立病院を経て、こうして戻つてくることができましたので、とても幸せに感じています。医療の集約化は大切なことで、チームで診療する方が、多くの患者さんの手助けをすることができます。しかし、だからと言って大きな都市だけに大きな病院があれば良いというものではなく、小さな町に地域に根差した小さな病院があることにも意義があると思つています。今後とも皆様にはお世話になります。よろしくお願いします。

私は医師を志した頃から、孤島とは言わないまでも、田舎の診療所のようなところで働

下伊那赤十字病院 小児科

岩波 利和

顔を東北へ

みんなが美しい笑顔に～



松川高校生徒会ポランティアクラブでは、東日本大震災後、宮城県石巻市で花開いたペチュニアの種子を被災地から譲り受けました。これを松川町で咲かせ、再び石巻市にもっていくという活動に取り組みました。今回の特集では、この活動から生まれる人々の様々なつながりについて紹介します。

活動のきっかけ ～ペチュニアの歴史～

松川高校生徒会の活動テーマ「思結美（おむすび）」

松川高校生徒会では、東日本大震災後何かできることはないか考え、今年のテーマを次のように決めました。

『思結美（おむすび）』
思…思いやる心
結…一人ひとりを結ぶ
美…心の美
心のきれいな人間

「おむすび」は日本の伝統的な食べ物であり、一粒一粒のお米が温かく、強く握ると1つになる。伝統を大切にしながら、全校生徒、さらに多くの方々と手を結び合い、団結して様々な事に挑戦していこう

という気持ちが進められています。被災地での取り組みを知るこの生徒会テーマのもと、具体的に自分たちにできることは何かを考えていた時、次のような被災地での取り組みを知りました。

自分たちができること

松川高校の生徒は、生徒会活動として7年間取り組んできた花いっぱい運動も踏まえながら、「花」を通じて被災地の皆さんが「笑顔」になってもらいたいと考えました。そしてこのペチュニアの種を発芽させ、花を咲かせ、再び石巻市に届けようということになりました。

【ペチュニアが届けられる】

石巻の小・中学校では震災後の5月、本格的に授業がはじまりました。そんなある日、「湊小学校の子どもたちへのプレゼントです」というメッセージの添えられた市の教育委員会からの贈り物が届きました。それは、赤、ピンク、紫の約200株のペチュニアの苗やプランターでした。

【人々の交流の場となる】

湊小学校は、避難所として使われており、教室にはまだ300人を超える被災者が生活をしていました。湊小の児童も被害の少なかつた別の中学校の教室で授業を再開することとなったため、花の苗の世話をすることが難しい状況となっていました。

そこで、避難所の仮設風呂のボランティアがその世話を引き受けることになりました。

【花の種をまいてみませんか】

9月中旬、避難所が閉鎖することとなり、仮設風呂も閉じることとなりました。そんな時、ある女性から「被災地の人々とともに過ごしてきたこの花たちの種をまいてみませんか？」と声がありました。

花を育てる ～活動を地域に広げる～

ペチュニアの種子を譲り受け、育てることができた生徒たちは、さっそく採取作業に取りかかりました。ペチュニアの種はとて小さくて、採取は大変な作業でしたが、想いのつまった貴重な種を一つ一つ取り出し、活動は進み始めました。



貴重な種を一つ一つ取り出す



譲り受けたペチュニアの種子



花という笑

～ 相手を**思**う気持ちが身を**結**び、

種子の発芽

採取した種子は、約7千粒になり、生徒会で種まきをするもの、業者へ委託するもの、下伊那農業高校に依頼するものに分けました。また、松川北小学校4年生の皆さんにも種子を分けて、育ててもらおうようにしました。

発芽した苗の育成

～地域みんなで育てていく～

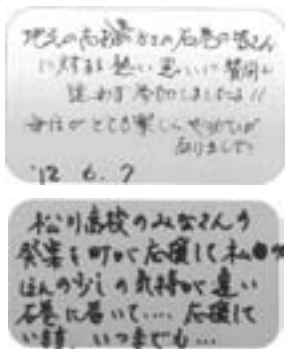
5月初旬には、松川高校全校生徒の手で、発芽した苗のポットへの植え替え作業をし、PTAボランティア指導者にご協力いただきながら、育てることとなりました。また、折鶴を折ったり、メッセージを書いたりして、石巻へ届ける準備もすすめていきました。

育った苗は、花いっぱい運動の一環として、生徒会役員と有志が、上片桐駅から高校へ向かうフラワールードや校門付近、そして役場周辺にも植えました。



松川高校の校門付近に苗を植える

【花と一緒に届けられたメッセージ】



なお、配付した苗の一部は、被災地を思う心をつまでもという思いから、そのまま育てていただくことになりました。

また、この活動を松川町全体に広げていこうと、「ゆりの会」「花てまりの会」など町の花いっぱい運動参加団体や個人のお宅など31名の町民の皆さんに106ポット配布しました。大切に育てられ、元気に成長した苗を、被災地へのメッセージとともに、地域の皆さんから再び預かりました。



育った苗が町内各地に

花を届ける

～「花」で「笑顔」に～

6月15・16日の両日、生徒7名が石巻市を訪れ、町民の皆さんからの支援物資とともに、多くの人達の思いのつまったペチュニアの花3千株を石巻私立湊第二小学校や宮城県水産高等学校、仮設住宅などに届けました。

被災地を訪れた生徒は、「笑顔をお届けするつもりが、笑顔をもらった」

「津波の恐ろしさに悲しくなりました」

「また支援活動をしたかった」



再び被災地に戻って咲いたペチュニア

心やすらぐ花

～花から生まれたつながり～

今回のペチュニアの花を育てる活動を通じて、様々なつながりが生まれました。

避難所では、花が心を癒しその人々のつながりをつくりました。そのことが被災地に笑顔をお届けたいという松川高校の活動にもつながり、松川町の人々や他の高校の心を動かししました。

そして、これらの活動がきっかけで、被災地と松川町を結ぶ新たな取り組みもそれぞれの地で始まっています。花を届けた際、畑からがれきを撤去するボランティア活動を行いました。ここでは、今回松川町から支援物資として届けられた大豆をその畑で発芽させ、みそをつくって松川高校に送る計画があるそうです。一方、松川町の増野地区では、「東北を支援する増野の有志の会」が立ち上がり、がれき撤去作業などのため、7月下旬をめどに石巻市を訪問する計画をたてています。

ペチュニアの花言葉には、「あなたと一緒に心とらぐ」「心がやすらぐ」といった意味があるそうです。松川町で咲く花は人々の心を和ませ、「そろそろ石巻でも花が咲く頃かな」と被災地への思いを巡らせてくれます。離れた2つのまちをいつまでも結び続けてくれることでしょう。

特集「防災学習への取り組み」

暮らしの知識を学ぶ講座⑩

防災意識を高める

講師 大蔵 正明さん
飯田ボランティア協会

6月22日(金)
PM7:00~

東海地震を知る

いつ発生してもおかしくないと言われている東海地震ですが、松川町では震度6強とされています。

阪神淡路大地震の10倍のパワーをもち、大きく1分以上は揺れる海溝型地震で、大きな揺れは、2波・3波と続きます。

奈良時代からの記録によると、これまで11回発生、90年〜150年の周期で起きています。前回の安政東海地震（1854年）から今年（18年目、89%の確率で起きると予測されています。

家庭での防災準備

東海地震は10月〜3月の夜に起きる可能性が高いと言われています。

まず、受講者で、夜、寝ている時に地震が起きたら、何を



地震について語る大蔵さん

するかを挙げました。その中から、やる事の順番を考えました。

- ①自身を守る
 - ②家族を守る
 - ③揺れがおさまるまで動かない
 - ④明かりの確保
 - ⑤靴を履く
 - ⑥避難
- 震度5以上の地震では、体を動かす事ができません。まずは自分の身を守る、頭をおさえて丸くなる事。ガス・電気は震度5以上では止まってしまう為に慌てて始末をしないように、家を出る時にブレーカーを切って避難するとの事です。
- 人的被害を減らす事が、減

災と語る大蔵さん。阪神淡路大震災の死因の98%が家中で発生しています。タンス・食器棚の固定、避難経路の確保などが本場の防災だそうです。

家の中の点検ポイント

- ①倒れないか？
(タンス、食器棚…)
- ②落下しないか？
(タンスの上の物…)
- ③移動しないか？
(テレビ、ピアノ…)



受講者全員で新聞紙スリッパ作成

被災された方からは、「まさか…この地で…」「こんな事なら…」と言う声を聞くそうです。町の人がこのように、事を言うことのないように、日頃から備えていきたいです。大蔵さんは受講者に、講座内容は忘れても、これだけは覚えて帰ってほしいと、新聞スリッパと食用油ランプを作成しました。

東日本大震災を健康の視点から学ぶ

毎年、体を動かす事をテーマに行われている学習会ですが、今回は震災・災害時に備えるにあたっての日頃からの準備について、地域包括支援センターの北沢保健師より、東日本大震災の避難所の様子を被災者の声を元に講話していただきました。

～日頃からの健康づくりで震災・災害に備える～ 名子地区公民館健康学習会

東日本大震災では、津波で多くの人が亡くなりました。その中には、着る物やお金を取りに戻ったために命を落とされた方がいました。逆に若い人の「逃げろ」と言う言葉を信じ助かった方もいたそうで、日頃から命が大事と思う事、大切にすることを必ずかきしさを感しました。

からなくて処方してもらえないという問題がありました。薬の名前を覚えておくと、災害時に病院が変わっても、すぐ薬を処方してもらえます。お薬手帳も災害時に持ち出せるようにすると良いそうです。

災害への備えをすすめていく

松川町は区・自治会単位での防災設備が進んでいて、仮設トイレ等が準備されています。自治会単位では、一日程度生活できる物を用意すれば良いそうです。一方、被災地に届く食料はパン・もち・おにぎり・缶詰が多く、野菜不足になってしまうので、ビタミン剤を用意するなど、健康面での備えも大切になってきます。

今後の防災訓練の中では高齢者や障害者を救助(誘導)する為の訓練も必要ではないかと被災地での体験から見えた普段からできる備えを語ってもらいました。

参加者には、命の大切さ…自分が生きる為には何が必要なのか…と震災を通じて感じた学習会になりました。



大震災で困った事

薬の名前がわからない
災害時の困った事の一つに、自分の飲んでいる薬の名前がわ

梅雨にも負けず!! 暑さにも負けず!!

スポーツ

第39回下伊那郡オープンソフトボール大会

6月3日(日)に松川町運動公園で第39回下伊那郡オープンソフトボール大会が行われました。

結果は次のとおり。

優勝 48オールスターズ (豊丘村)

準優勝 たかぎクラブ (喬木村)

第3位 城山クラブ (松川町)

松川町ミックスバドミントン大会

6月17日(日)に松川町民体育館で松川町ミックスバドミントン大会が行われました。結果は次のとおり。

〈Aブロック〉

優勝 佐々木章吾 北沢真希 (ジョイフルB・C)

準優勝 中島和希 丸山さなえ (ジョイフルB・C)

第3位 小林 功 小林春美 (福与B・C)

〈Bブロック〉

第3位 松田晃樹 林 暁 (福与B・C)

優勝 宮下 健 竹内支え (福与B・C)

準優勝 山田和浩 井口きよ子 (松川B・C)

第3位 横田和芳 林美奈子 (上片桐B・C)

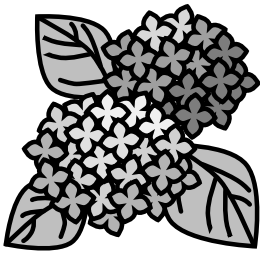
第3位 設楽幹人 清水菜芳 (福与B・C)

優勝 片桐陽一 山岸佐貴子 (上片桐B・C)

準優勝 小池久男 下沢智子 (上片桐B・C)

第3位 中島和人 中島 愛 (ジョイフルB・C)

第3位 小野川幸洋 森下淳子 (ジョイフルB・C)



中央公民館の改築が決定！ 住民の皆さんの声を募ります

昭和46年に完成した「中央公民館」の建物の老朽化が目立つようになり、建て直しを望む住民の声が多く寄せられるようになりました。

これを受けて昨年、中央公民館整備方針検討委員会が発足し審議を重ねた結果、建物を改築することとなり、平成26年着工を目指しています。

そこで、住民の皆さんから広くご意見・ご要望を募り、新しい中央公民館の建物づくりにいかしたいと思いを。

公民館を利用して不便だと思う点、こんな建物だったらいいな、こんな施設があったら利用したいなど、ふだん利用する方はもちろん、利用する機会が少ない方も、ぜひご意見をお寄せください。

■ご意見の記入様式

- ・町のウェブサイトから専用の記入用紙がダウンロードできます。
・中央公民館、役場、上片桐・生田支所、社会福祉協議会の窓口にも置いてあります。
・任意様式でも構いません。

■応募方法

- ①公民館、役場、上片桐・生田支所、社会福祉協議会の窓口に設置してある意見箱に投函
②中央公民館に直接持参
③郵送 〒399-3303 松川町元大島3720 松川町中央公民館
④ファックス 36-6620
⑤メール c.kouminkan@matsukawa-town.jp

■応募期間

平成24年8月3日(金)まで

夏休み子ども学習旅行 参加者募集

- ▶行き先 ①清里高原ポールラッシュ記念館 やまねミュージアム他
②白樺湖ファミリーランド
※①か②のどちらかを選択
▶期 日 8月9日(木)(日帰り) 予備日10日(金)
▶参加費 世帯1人目 4,000円。2人目から3,000円
※申込後、予約金として半額を納入
▶その他
・申込定員は先着30名
・清里高原は子どもだけの参加可 ただし幼児、小学2年生以下の参加は保護者同伴
・白樺湖ファミリーランドは親子単位の参加に限る

申込み・お問い合わせ先

松川少年少女体操・スポーツ総合クラブ
代表 川又一郎
電話・FAX 36-5728 090-4460-5728
メール c-yilang@rainbow.plala.or.jp



男声の読み聞かせ まつかわパパ's

子どもたちに絵本を読み聞かせるお父さんたちのグループ。それがまつかわパパ'sです。

「お母さんだけじゃなくお父さんの読み聞かせも聞いてもらいたい」という思いから発足し、絵本の読み聞かせライブなどの活動をしています。現在は6人のメンバーですが、新たなメンバーも募集中です。読み聞かせさえできれば活動でき、さらに手品などの特技もあれば披露できる場もあります。



桂米福師匠 みんなの笑いを誘う子にのって高座にあがった桂米福師匠。

すぐにうまり追加されるほど。とても安心感のあるやさしいお顔の師匠は、古典落語を始めるまえに私達の身近な事柄を、おもしろおかしく話題にされました。

一般のお父さんたちの集まりなので、活動できる日は主に土曜日・日曜日などになりますが、読み聞かせイベントの依頼も募集しています。メンバー加入・イベントの依頼、どちらも図書館に行けば受けてもらえます。

これまで、子育て支援センター・おひさまや図書館でのライブ・ノントンの会でも読み聞かせをしているので、小さなお子さんのいるご家庭では見たことがある人たかも多いのではないのでしょうか。お父



ジェスチャーを交えた読みみかせもあります

笑いは心のビタミン剤 ~まつかわ寄席6/30④~

すぽっと

何ということもないのに目や口などの顔の表情や扇子などの小道具、身体全体の動きで自然な笑いを誘うのはさすがです。落語は古典。やっぱり熊さんや八つっあん、大家さんなどの温かなことばのやりとりで笑いのなかにもグツとくるものを感じることが出来ます。

笑うことで脳から出るホルモンにより身体が活性化され免疫力もアップするそうですが、師匠の話で大声をだして笑った私は、そのあと元気に仕事をすることが出来ました。元氣回復の源となった松川寄席。みなさんも笑いで元氣いっぱい毎日をすごしましょう。

こころの詩

田んぼ
中央小5年 矢沢有希
生き物がたくさんいる田んぼ

中にはおもしろい生き物や気持ち悪い生き物
一生けん命生きている命だ
でも人はいやがって田んぼがへつている

命のいつばいある田んぼ
生き物にとつてはいい場所だ
こんな田んぼを守らないといけない

カエルのたまご

中央小5年 三島涼太

さあ田圃えだ
きらいなカエルに会いません
よつに

あ、カエルのたまごだ
きもちわる
たまごの白みみたい
ドロドロしてる

となりの足が動くと
波にのつて
だんだん近づってくる
たまごは、くずれない
すごいな

俳句

宮澤友彦 (寺沢)

梅雨晴や合間に茶を待つ農夫婦
母の日や育ててみたき女の子
風鈴の急になり出す廊下の間
冷蔵庫独りの時は開けてみる
さくらんぼ口にはみ出す親子狩
夜の雨
田村三好 (宮本)
山映の代田より翔つしら鷺の群れを
染めつつもゆる夕映え
香りたつ佐久の純米あらばしり
酌みつつひとり夜の雨聴く
軒下の去年の簾簾を下ろさんと
爪立ちて知る背丈の縮み
天指して溪に群れ咲く桐の木の花のほのかな紫が好き
傘寿はや巡りきたれば新たな未来を
未来を目指して一歩踏み出す

声

スカイツリーへ行ってきました

中央小6年 羽生み風

6月14日修学旅行で、今年5月22日にオープンした東京スカイツリーに行ってきました。

東京スカイツリーは、高さ634メートルで世界一となりました。

バスが近づくにつれて、スカイツリーの高さにとてもおどろきわくわくしてきました。スカイツリーに着きました。中に入るとスカイツリーのキラクタワーソラカラちゃんという女の子と、テッペンペンというペンギン、スコブルブルというブルドックの絵や人形がありました。

お客さんがたくさんいて、とても混雑していました。やっと展望デッキまで行けるエレベーターに乗りました。このエレベーターは、40人乗りとしては日本

最速のエレベーターです。エレベーターの中は暗く、いろいろな季節でかざってあります。私たちは秋でかざってあるエレベーターにのりました。そして展望

デッキフロア350メートルまであがって行きました。急に高度があがったので、耳がおかしくなりました。50秒ほどで着きました。エレベーターからおり

て外を見てみると、東京の景色が一面に見わたせました。スカイツリーからは東京湾、お台場、東京タワー、国技館、新宿、東京ドーム、上野、浅草、隅田川、富士山が見え、家やビル、車や人が小さくおもちゃみたいに見えまし

634mの国のおおきく

中央小6年 高坂唯

私達中央小学校6年生は、2日間の日程で東京へ修学旅行に行ってきました。その旅行の中で、今話題の東京スカイツリーと東京タワーにも上がってきました。

東京スカイツリーは平成23年の2月29日に完成して、高さ634mです。私がすごいと思ったところはこの634mという高さについてです。なぜこんなに高いのかというと、東京にビルがたくさんできて、東京タワーからの電波が山村まで届きにくくなっ

てしまったからです。そこで東京スカイツリーを造ることにになりました。こんなに高い塔を造ることが出来る日本の建築の技術はすごいと思いました。

私は正直、スカイツリーはそんなに高い塔ではないのでは...と疑っていました。でも近くに行ってみると、「なんじゃこりゃ」となるくら



まちの石仏 ⑩ 「蚕玉さま(1)」(名子)

養蚕業の保護とサナギの供養のために造立された。



家族の中で一番最初に上がったので、すごくうれしかったです。今度は家族みんなで上がりた

た。床がガラスになっていたり、ろもありました。とてもきれいであったというまでした。またきかいがあつたら、家族といっしょにいききたいです。

◎2022年

久しぶりでBCLラジオなるものを操作してみました。私と同年代の男性なら記憶の片隅にある方も多いと思いますが、BCLとは遠距離の国際放送などを聴取して楽しむもので、いまから約30年くらい前に中、高校生のあいだで一大ブームとなりました。

当時は各家電メーカが競って高能力のラジオを開発していて、特にソニーとチシヨナル(松下電器)は会社の威信をかけて次々と新機能付きの製品を世に送りだしていました。

今回使用したラジオも当時のナシヨナル製。30年を経た今も抜群の性能を保っていて、最新機種デジタルチューナーラジオをも寄せ付けません。

しかし世の中はインターネット時代です。海外各局も聴取者の少ない短波放送に割く予算は無いよう、残念ながら多くは日本語放送番組が停波となっていました。当時雑音に悩まされつつ必死にダイヤルを合わせた、ワライカワセミの鳴き声で始まることで有名だったラジオオーストラリアや、ビッグベンの鐘のBBCも日本語番組が終了して、なんだか旧知の友にもう会えないような寂しい気持ちになりました。(宮下 徹)

公民館報 「まつかわ」 第 585 号 平成24年7月15日

発行所 松川町公民館 登部
責任者 矢澤 公民館編集部
編集人 Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)